

社協だより

第 82 号

平成24年 1月26日発行



この広報誌は共同募金配分金の一部を活用し作成しています。



大糠 お当の餅つき(村岡区)

毎年元旦に村岡区大糠で行われている「お当の餅つき」は、鎌倉時代に起源を持つとされており、平成13年より町指定文化財に登録されています。

「よいさー」の掛け声を合図に、杵で餅を勢いよく頭上に持ち上げ、臼に落とし本づきをします。これを数回繰り返してつき上がった餅は、無病息災を願い集落内全戸に配られます。

《 今月の主な内容 》

新年のごあいさつ 2
福祉委員長会議 3
もちつき交流会 4～5

ボランティアセンターだより 6
防災マメ知識 7
善意銀行だより 7
社協のけいじばん 8

新年のごあいさつ

香美町社会福祉協議会

会長 田 中 秀 春

新年明けましておめでとう
ございます。皆様におかれま
しては、2012年のお正月
をご家族お揃いでお健やかに
迎えられたこととお慶び申し
上げます。

平素より社会福祉協議会に
対し、絶大なるご理解とご支
援を賜っておりますことに心
より感謝申し上げます。

さて、2011年は皆様に
とってどんな一年だったでし
ょう。1月・2月と例年にな
い大雪となりました。小代区
そして村岡区の方々にとって
は、屋根の雪おろし等々で大
変だったと思います。さらに
3月11日の東日本大震災、17
年前の阪神・淡路大震災をは
るかに越えた大災害でした。
同時に大津波による東京電力
福島原子力発電所での放射能
もれ事故等、未曾有の大災害

でした。

また、10月には台風12号、
15号が上陸し、これまた大き
な被害をもたらしました。こ
れらの災害で本場に多くの方
が亡くなられました。そして
未だ行方不明の方も多くおら
れます。亡くなられた方々に
心よりお悼み申し上げますと
ともに被災された方々にお見
舞い申し上げる次第でありま
す。

このように災害はいつ、ど
こで、どのような事が起きる
か分かりません。日頃より私
達一人ひとりが災害に対して
の危機感と心構えをもたない
ればなりません。

今回の災害を通して再確認
させられた事、それは“人と
人とのつながり”の大切さ、
まさに“絆”です。

我が香美町では相変わらず

厳しい行政改革が進められ、
経済もここ数年大きく低迷し
ています。少子高齢化もどん
どん進み、高齢化率は33%を
越えました。その上、人口も
減少し、集落の過疎化も進ん
でいます。

このような地域状況の中、
何が大切なのでしょう。そ
れは“人と人とのつながり”
ではないでしょうか。

社会福祉協議会といたしま
しても、こうした地域の中の
人と人とのつながりを大切に
するため、また要望、各種課
題解決のため、区長様をはじ
め関係方々との連携を密にし
ているところでございます。

ところで昨年は、平成23年
度を初年度とする「香美町社
会福祉協議会第2次地域福祉
推進5カ年計画」を策定いた
しました。この計画に沿って
誰もがその人らしく地域で尊
厳をもって安心して暮らせる
「福祉コミュニティ」の実現
のため、地域住民を主体とし
た地域福祉の推進に努めてい

るところであります。

香美町も高齢者などが安心
して生活を送ることができ
よう、地域全体で見守る組織
として、昨年11月に香美町高
齢者等見守りネットワーク「に
こにこ香美ネット」を立ち上
げました。

一昨年度に完成いたしました
福祉・防災マップ（香美町
全集落）は、災害時のみなら
ず、日常生活の中で、福祉活
動はもとより、様々な活動の
中で活かしていただきたいと
思います。

今後とも「ささえあい、安
心して暮らせるまちづくり」
実現に向け、役職員精一杯努
力いたします。どうか皆様方
のお力添えをお願い申し上げ
ますとともに、ご健康とご多
幸をお祈り申し上げます。挨
拶とさせていただきます。



Ⅱ 地域の福祉課題を探り 活発な意見交換Ⅱ

福祉委員長会議

村岡区 12月3日(土)
香住区 12月10日(土)
小代区 12月11日(日)

今年度の福祉委員会活動も半年が経過しました。

そこで、地域の福祉課題について情報交換や意見交換を行い、福祉委員会の役割を明らかにすることで、今後の活動の促進につなげることを目的に香住区・村岡区・小代区の3会場で福祉委員長会議を開催しました。

今回のテーマ(福祉課題)

は、村岡区・小代区は『冬を安心して暮らすために(雪対策について)』、香住区は『住み慣れた地域で安心して暮らしていくために』について、それぞれの地域の現状や今後の福祉委員会の取り組みについてグループごとに話し合いを行いました。

その内容を一部紹介します。

集落から出た意見

【村岡区・小代区】

雪で困っていることは何ですか

- ・道に出した雪を持って行くところがない
- ・閉じこもりになる
- ・生活道路の除雪で除雪機が使えない
- ・路面凍結による転倒事故

集落で対応していること

- ・お互いさま、思いやりの気持ちで近所の人等が雪かきを行っている
- ・声かけ、見回り

集落で大変だったこと

- ・誰にも知らせないまま、子どもの所へ外出していた



▲ 12月11日(日) 小代区福祉委員長会議

集落で対応できなかったこと

- ・いきいきサロンの開催

福祉委員会でできること

- ・冬を迎える前に集まり、対応を話し合うことが必要では
- ・声かけ、見回り

【香住区】

福祉委員会運営・役割の明確化について

- ・組長会議が3カ月に1回あり、その中で実施
- ・委員長及び委員の選出については、役職指名よりも個人指名にして任期を継続することが必要ではないか

見守り活動について

- ・委員長と民生委員だけが動いている状態だったので、隣保の方にも働きかけて皆で見守るようにしている
- ・普段の生活の中で声かけをしている

ささえあい・要援護者マップ(要援護者登録)の申請・活用について

- ・防災組織のメンバーが集まり、役割分担を決めて、シ

ミューションを行った
情報の共有が難しい

ご近所ボランティアの活動について

- ・日頃からたすけあい活動はしているが、形として出てこない、わざに必要な性を感じない
- ・遠慮されていて依頼がない

いきいきサロンの運営について

- ・老人クラブといきいきサロンの関係が重要
- ・サロン代表者と福祉委員長が異なるため、サロンをしていることは知っているが、どんな形で行っているのか分からない

福祉委員会活動は、誰もが安心して暮らせるまちづくりを実現するための活動です。近隣の住民が協力し、見守りなどお互いにたすけあう活動の実践が災害時にも活かされます。今後も住民の皆様のご協力をお願いします。

小代区

こきだるもちつき

美味しい!!

いこいの里
世代間交流

毎年恒例の『もちまつり』を12月21日にいこいの里で行いました。

おじいちゃん、おばあちゃん、認定こども園、ひよこグループ、約100人が集まり、昔ながらのもちつきで、雑煮を作って食べました。

「よいしょ!よいしょ!」とかけ声をかけてがんばっておもちをつき、「まあるく、まあるく」とまるめて、いろんな形にぬいた野菜を入れて雑煮の出来上がり。
おかわりをして、お腹がいっぱいになりました。



▶ やあ、かいてようー!



▲ はい、どうぞ。いっぱい食べてね!



▲ 野菜は型抜きで作って...



▲ 手も服も、まっしろ!

村岡区

初春の準備

つつじの里もちつき

12月22日、村岡区のつつじの里で、入居者と中西区の皆さんなど29名が、白と杵を使い、毎年恒例のもちつきを楽しみました。これは、地元である中西区との交流を深めるため、平成12年のつつじの里オープン当初より行われているものです。

中西区の参加者からは「皆さんに喜んでもらってうれしい。またこういった交流の機会を持ちたい」といった声が聞かれました。

白に蒸したてのもち米を入れると、合いの手を入れながら「ペッタン、ペッタン」とリズムよく杵でついていきます。途中、入居者の方も交代しながら加わり、なめらかに仕上げていきます。
白もち、栃もち、よもぎもちなど次々つき上がると「昔ほどの家もこうして餅をついていた。」



▲ 息もピッタリ



▲ 慣れた手つきで

香住区

みんなで力を合わせて

グループホーム「かがやき」

もちつき交流会

12月25日、グループホーム「かがやき」で年末恒例のもちつき交流会を開催しました。入居者と家族、ボランティアや運営推進委員などグループホームに関わる方々の交流を深め、健康を願って実施しています。当日は総勢35名の方々が、力を合わせて交代しながら5うすのもちをつきました。

もちつきの後は、ボランティアが作った昼食をいただきながら、年内のグループホームの行事や日々の暮らしなど、いろいろなことについて話をしました。

参加された皆さんは、「もちつきをすると気持ち元気になるなあ」「来年も元気で過ごそうで」と話をしてくださいました。



▲皆さん慣れた手つきでもちを丸めていました

グループホーム「かがやき」の行事は、もちつき交流会をはじめ、いもほり交流会、運動会やまつりの参加など、多くの方々のご理解やご支援をいただいて実施（参加）しています。皆様にお礼を申し上げ、今後とも多くの方々のご協力をお願いいたします。

懐かしい曲と一緒に

大正琴グループが施設訪問

香住区の大正琴清恵会「あすなろ」のメンバー8名が12月13日、デイサービス「ほへみ」で大正琴を演奏し、交流を深めました。

あすなろの皆さんは清水りか先生の指導のもと月に2回練習を重ねながら発表会へ出演したり、施設を訪問したりしています。

この日は「北国の春」や「赤とんぼ」「ふるさと」などの曲を演奏したほか、「汽車」の歌に合わせてグー・チョキ・パーなどの体操も行いました。高齢者の皆さんは手拍子をしながら楽しそうに歌い、アンコールまで飛び出すほど。

代表者の高橋ひろ子さんは「皆さんお元気

で、歌もよく覚えておられて、何番でも一緒に歌ってくれるので感激しました。自分たちの励みにもなるので、いろいろな施設から声をかけてもらいたい」と笑顔で話していました。



▲懐かしいメロディーを聴き、自然に口ずさんだり、手拍子したり・・・

香美町 ボランティアセンターだより

【お知らせ】

プルタブ収集の終了について

社会福祉協議会では、収集ボランティアの一環としてプルタブを受け付けていましたが、平成24年3月末をもちまして終了します。

ご協力ありがとうございました。

現在では、ほとんどのアルミ缶が、プルタブが外せないタイプに切り替わっています。これは、缶全体のリサイクルを前提としているのです。



その一方で、缶から外されたプルタブで人がケガをしたり、動物が飲み込んで被害に遭ったりという事故も起きています。

また、アルミは重量で取引されるので、プルタブを切り離して集めるよりも、缶を丸ごとリサイクルした方が安全で効率的なのです。

もし、お知り合いに「プルタブだけを集めている方」がいらっしゃいましたら、アルミ缶そのものをリサイクルされるようお勧めください。

詳しくは、アルミ缶リサイクル協会のホームページ（<http://www.alumi-can.or.jp>）をご覧ください。

アルミ缶回収については、香美町地域支援センターでリサイクル事業に取り組んでおられます。

連絡先 0796-364915

収集ボランティア

古切手等の収集にご協力いただいた皆様をご紹介します。

12月分（受付順・敬称略）

古切手・ベルマーク・はがき・テレホンカード

〔香住支所〕

森 株式会社西山工務店

森 株式会社ナカイ自動車センター

一日市

(有)蔵林商店

香住

毛戸工業(株)

駅前

エスキュート

森

小西自動車整備

大野

ヤマト運輸(株)

香住センター

〔村岡支所〕

村岡

大西 清子

川会

川会診療所

〔小代支所〕

鍛冶屋

水間しげ子

貫田

古岡 種子

その他にも、匿名で多くの方にご協力頂きました。ありがとうございます。

聞こえと補聴器の勉強会

「聞こえ」について学んだことはありますか？ 「補聴器」がうまく活用できていますか？

日時 平成24年2月26日(日) 13時30分～15時30分 (受付: 12時30分～)

場所 八鹿文化会館 23号室 (養父市八鹿町八鹿1675) **参加費** 100円(資料代)

プログラム ◆聞こえをたすける『情報保障』あれこれ ◆養父市聴覚障害福祉制度について
～OHC、磁気誘導ループ…ご紹介します～ 講師 養父市健康福祉部社会福祉課

◆何、なに？『要約筆記』 ◆聞こえ・補聴器についてのお話・イヤーマールド型取り実演
～『ようやく』して『ひっき』する？～ 講師 マリヤ医科興業(株) 但馬補聴器センター
誰が？どうやって？その疑問にお答えします！ 認定補聴器技能者 大羽 裕 幸氏

締切 平成24年2月22日(水)

◆申込・お問い合わせ先
たじま聴覚障害者センター 〒668-0042 豊岡市京町12-73
TEL 0796-24-8008 FAX 0796-24-8288

耳より情報「防災マメ知識」
火災から大切な命を守る！

『住宅用火災警報器』

火事の煙には、一酸化炭素などの有害なものが含まれており、わずかな煙でも命を落とすことが少なくありません。

「住宅用火災警報器」は、この煙を感じて音声で知らせてくれるもので、次のような事例が多く報告されています。

【火事になる前に気付いた事例】

台所で鍋が焦げ付いて煙が充満したが、警報器が鳴りすぐに火を止めた。

【就寝中に警報音で目覚めた事例】

2階で就寝中、階段の警報器の音声で目覚め、1階居間で炎と煙が出ているのを発見し、ぼやですんだ。

【通行人が煙に気付き119番した事例】

留守の家の前を通りかかった通行人が警報音で煙に気付き、携帯電話で119番に通報した。

住宅用火災警報器は、あなたの命を火事から守る大切な機器です。設置後は次の点に注意してください。

○定期的にテスト（ひもを引く、ボタンを押すなど）や清掃を行ってください。

○電池切れ表示（警報音）が出たときは、すぐに電池を取り替えてください。

○近くにエアコンや照明器具を設置しないでください。

○異常があれば、すぐに販売店に連絡してください。



★分からないことがありましたら
美方広域消防本部

（電話0796-92-0119）
にお問い合わせください。

善意銀行だより

（平成23年12月1日～31日）（預託順・敬称略）

香住支所

・香典返し

下浜 川田 美幸

若松 伊藤 眞一

無南垣 中川 久夫

三谷 須川 元行

一日市 小柴 公二

香住 西上 芳孝

森 久保 義久

・福祉の志

但馬地域兵庫県職員

・物品預託

九斗 山本 勝昭

もち米

村岡支所

・香典返し

高坂 井上 博美

大野 大林 勝彦

・物品預託

日影 山本 花枝

スノーダンプ

小代支所

・香典返し

秋岡 久野 正人

石寺 井口 利次

水間 藤澤 光次

新屋 伍々 博一

千葉県八街市 井上 雄裕

預託金合計

681,000円

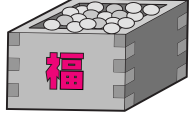


皆様からのあたたかいご預託は社協の地域福祉活動に使わせていただきます。ありがとうございます。

○お名前・金額は、預託者本人のご意向により掲載しています。

社協のけいじばん

～総合相談所のごあんない～

	香住支所 TEL 0796-36-2758	村岡支所 TEL 0796-98-1000	小代支所 TEL 0796-97-2202
心配ごと相談	とき: 2月15日(水) 13:30～16:00 ところ: 香住老人福祉センター	とき: 2月8日(水) 2月29日(水) 13:30～16:00 ところ: 村岡老人福祉センター	とき: 2月1日(水) 2月22日(水) 13:30～16:00 ところ: いこいの里
結 婚 相 談	とき: 2月23日(木) 13:30～16:00 ところ: 香住老人福祉センター	とき: 2月9日(木) 9:30～12:00 ところ: 村岡老人福祉センター	とき: 2月16日(木) 13:30～16:00 ところ: いこいの里
弁護士相談 ※要予約(1人30分)	とき: 2月14日(火) 13:00～16:00 ところ: 香住老人福祉センター 担当者: 前田貞夫弁護士		

各種相談は町内どこでも受けられます。各支所にお気軽にご相談ください。

※秘密は厳守します。

※相談はいずれも無料です。

ボランティア講演会

～人づきあいで若返る～ **大きなお世話で大成功**

ちょっとした手助けが、大きな笑顔を生みます。
あなたもこの講演をきっかけに何か始めてみませんか。

◆ と き

平成24年3月17日(土)

午後1時30分～午後3時

◆ 講 師

夢こらぼ主宰

松尾 弥生氏



◆ ところ

香美町村岡老人福祉センター

◎講師プロフィール

兵庫県生まれ

講演会や研修会で「楽しくわかりやすく」をモットーに活動中

どなたでも参加できますので気軽にお越しください。

〈問い合わせ先〉

香美町社会福祉協議会 村岡支所 電話 0796-98-1000

問い合わせは、こちらへ

香美町社会福祉協議会(本所)

〒669-6545

美方郡香美町香住区森31-1

香美町香住地域福祉センター内

TEL 0796-39-2050

FAX 0796-39-2150

ブライダルショップ“ドリーム”(貸衣装)

香住老人福祉センター内

TEL.FAX 0796-36-2800

香住支所

〒669-6545

香美町香住区森31-1

香美町香住地域福祉センター内

TEL 0796-36-2758

FAX 0796-36-1019

村岡支所

〒667-1311

香美町村岡村岡305-1

香美町村岡老人福祉センター内

TEL 0796-98-1000

FAX 0796-98-1477

小代支所

〒667-1543

香美町小代区忠宮287

いこいの里内

TEL 0796-97-2202

FAX 0796-97-3294

ホームページアドレス <http://www.kami-shakyo.org/>